

大牟田市立中友小学校

1 本校のESDの特徴

大牟田市では、『「共生社会の構築」、つながりを理解し、かかわりを深める児童生徒の育成』を重視している。この基本的な考えを受け、一人暮らしの高齢者が多い校区の特色を踏まえ、児童が校区民生委員と一緒に高齢者宅を訪問したり、地域包括支援センターが実施する「ほっとあんしんSOSネットワーク模擬訓練」に参加したりしている。また、校区内に和菓子屋さんが多いという点も地域の特色であることから、饅頭の歴史を調べたり、実際に作ったりする活動を通して、地域への関心を高め、他者との関係性・社会との関係性を認識し、「つながり」や「かかわり」を尊重して、地域の一員として自分たちにできることを考えたり、実践したりする児童を育て、共生社会の構築を目指す取組を推進している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

＜スローガン：地域とともに、未来につながる中友

生活・総合的な学習の時間を中心にした取組【福祉教育】【地域学習】＞

- ・1年生（生活科）…「友だちや身近な人たちとなかよくなろう」
 - ・2年生（生活科）…「あそび大すき、あつまれ」「レッツゴー町たんけん」
 - ・3年生（総合）……「心の目を育てよう」「保育園の子どもとふれ合おう」
 - ・4年生（総合）……「大牟田川調査隊」
「大牟田・中友PR！キッズまんじゅうをつくろう」
 - ・5年生（総合）……「みんながつながる中友校区を目指して～子ども民生委員活動～」
 - ・6年生（総合）……「高齢者福祉について考えよう」
 - ・全学年「十日市をもりあげよう」……校区内の商店街で行われる十日市への参加
- ※関係機関との連携……地域の民生委員，公民館連協，福祉関係機関，教育関係機関
校区内の和菓子屋さん

3 特徴的な活動事例

(1) 5年生「子ども民生委員活動」

(総合的な学習の時間 49時間)

民生委員の仕事や役割について学習した後、「子ども民生委員委嘱状」を受け取り、地域の方（高齢者宅など）への挨拶回りをして、子ども民生委員活動を行っていく上でのめあてをつかむ。次に、「絵本教室」を行い、大牟田市包括センターの方を招いた認知症についての学習を通して、認知症の方への接し方を考える。その後、「ほっとあんしんSOSネットワーク模擬訓練」に参加し、民生委員さんと一緒になって、接し方や声のかけ方を体験する。



また、校区敬老会で、高齢者の方々にできることを考えて準備をしたり、おもてなしをしたりする。さらに、高齢者福祉に役立つ「赤い羽根共同募金」について知り、十日市の日に銀座商店街において街頭募金を行う。これらの活動を通して、福祉活動への理解を深め、社会の一員としての自覚を持たせる。



(2) 4年生「大牟田川調査隊」

(総合的な学習の時間9時間)

4年生において、市内の5つの小学校が連携した『川プロジェクト』の取り組みを行った。本校では、大牟田川の観察や水質検査等をG Tの先生に教わりながら活動した。大牟田川近辺の植物や、水辺に住む生き物について学び、全滅危惧種のカニがいることを知ることができた。

また、昔の大牟田川は、油が浮いていたり、異臭がしたりしていたが、現在は、随分きれいになり、地域社会の方々の努力があったことも知った。水質検査では、やはり下流の方が汚れていることが分かり、今後もきれいな大牟田川を守っていくために、一人一人が考えていかなければならないことを感じ取り、自分たちにできることを実践していく意欲を持つことができた。



※これまでの学習についてまとめ、他学年や保護者・地域の方へ発信する。

- ・学習発表会
- ・ユネスコスクール記念集会
- ・新聞発行（地域への配布）

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・活動をさせるだけでなく、活動後に整理・分析を位置づけたことで、児童の思いや気づきを大事にして、次の学習へと課題をつなぐことができた。
- ・街頭募金では、募金して下さった方々にお礼の言葉を言ったり、相手に合わせた言葉かけをしたりと、笑顔で積極的に関わろうとする姿が見られるようになった。
- ・地域の方（民生委員さんや見守り隊の方、名刺を配布した高齢者の方々など）への日常的な挨拶ができる児童が増えてきた。
- ・地域の方との連携（校区民生委員・和菓子屋さんなど）がより強化された。
- ・学年間の学習内容を見直し、6年生では福祉学習の実践で、高齢者施設での交流を行った。今後も学年間の見直しを行い、体系的で充実した学習につなげたい。
- ・地域、保護者の方々にE S Dの言葉と内容が浸透してきている。

○課題

- ・地域、他校への発信の仕方の工夫。
- ・身に付ける力を明確にした学習の進め方と評価。
- ・年間計画の見直し（時間・内容・学年間のつながり）

